

# 多核種除去設備 C系スラリー移送ポンプ流量低下事象について

平成25年9月30日

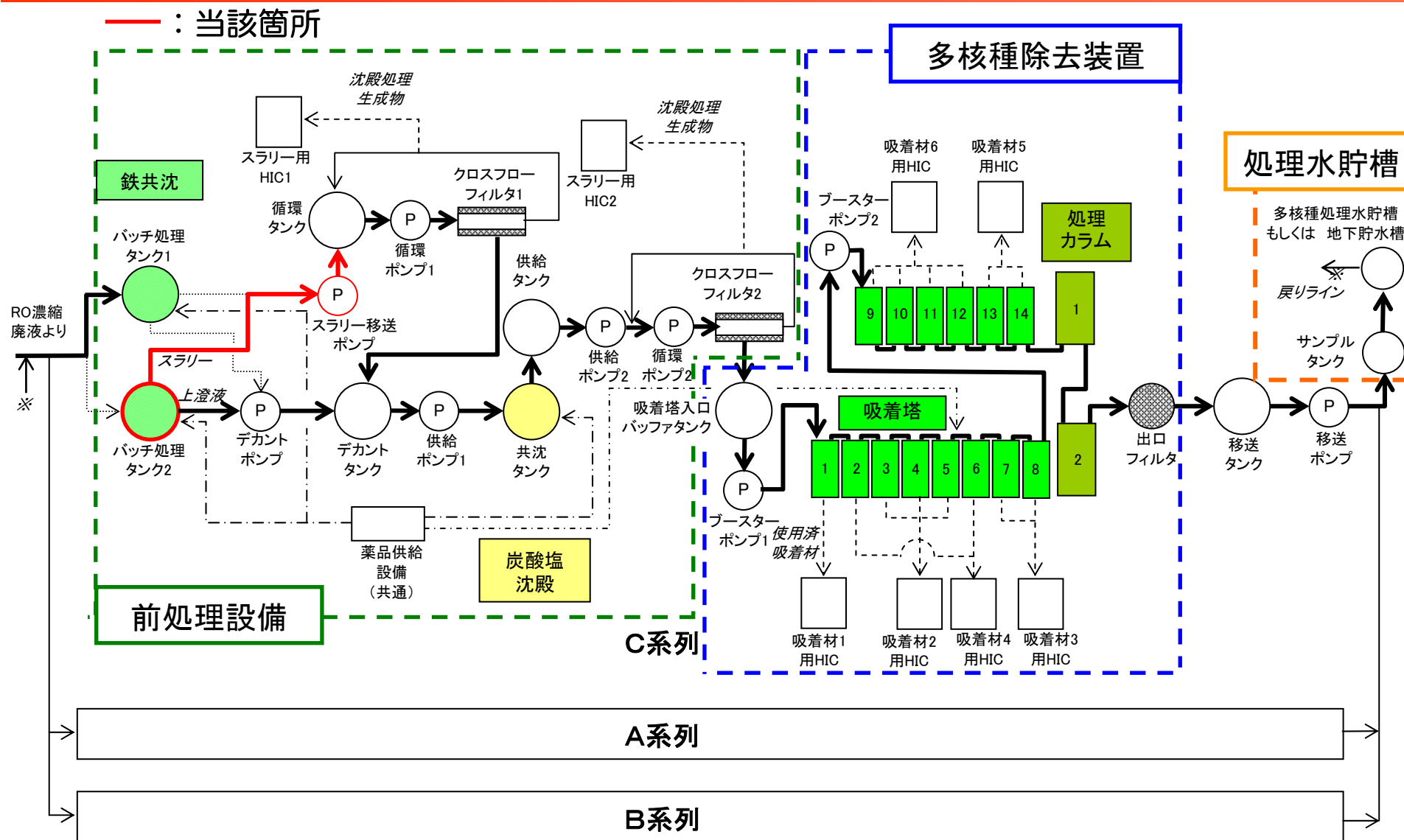
東京電力株式会社



東京電力

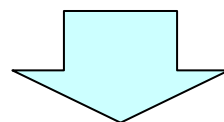
---

# 多核種除去設備 (ALPS) 全体系統図



# 事象概要

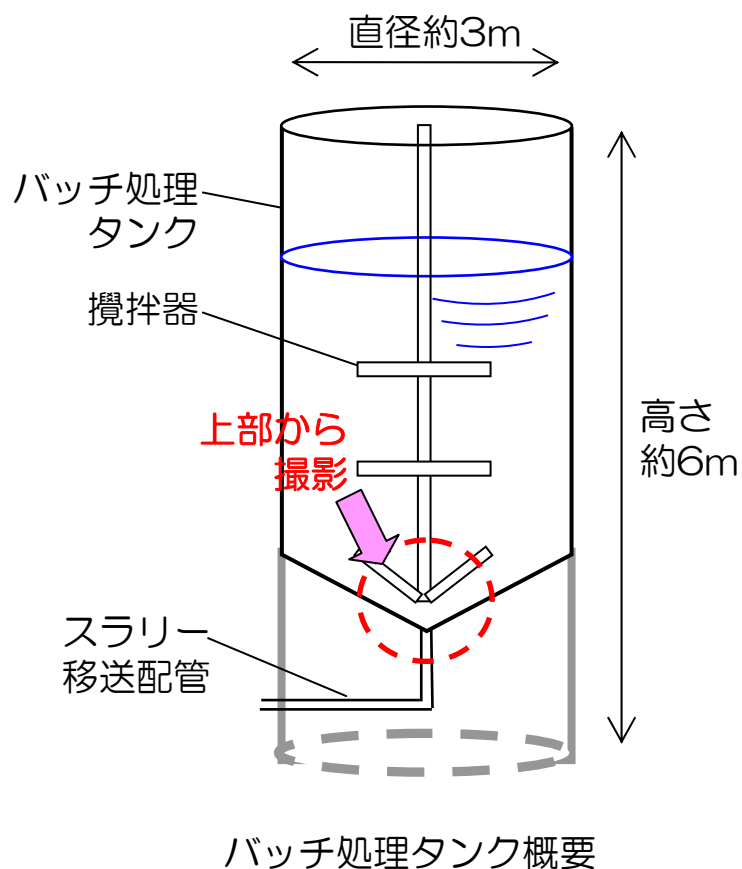
- 多核種除去設備（ALPS）は9/27 0:04よりC系の**ホット試験を開始**したが、9/27 22:00頃、バッチ処理タンク2Cからスラリーを移送する処理工程において、スラリー移送ポンプの**流量が低下**したことから、同日22:37に処理中断を行い、**循環待機運転に移行**
- 設備の確認状況
  - スラリー移送ポンプ：異常なし
  - 排出ライン合流部～循環タンクの配管（バッチ処理タンク1Cからの排出）：異常なし
  - バッチ処理タンク2C及び移送配管からの漏えい：漏えいなし
  - 逆洗による閉塞事象の解消確認：変化なし



バッチ処理タンク2C～スラリー排出ライン合流部間に  
**異物による閉塞の可能性ありと判断**

- 9/28 16:04バッチ処理タンク2C水抜きによる**内部点検のため循環待機運転を解除し、システムを停止**

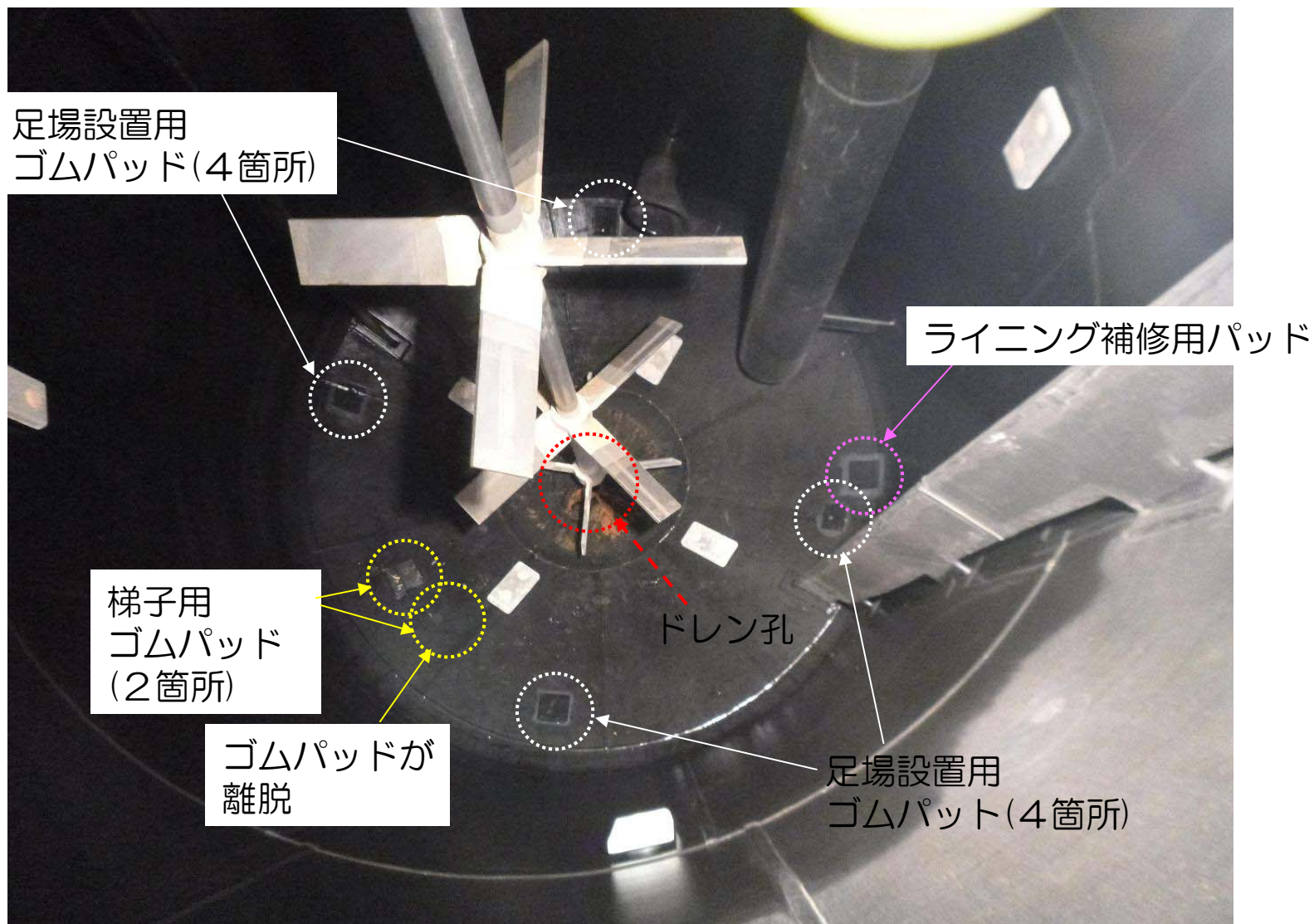
# バッチ処理タンク2C内部点検結果



バッチ処理タンク2Cの残水（スラリー）の水抜きを実施し、カメラによる**内部点検を実施**

- その結果、ゴムライニング施工時に設置した梯子によるライニング損傷防止のための**ゴムパッド**（20cm×20cm程度、厚さ3mm）と思われるものが**ドレン孔付近で発見**
- 当該ゴムパッドが設置されていた箇所に**設置されていないことを確認**（2箇所中1箇所）
- 足場によるライニング損傷防止のためのゴムパッドは当初の位置に設置されていることを確認（4箇所）

# バッチ処理タンク2C内部点検結果





# バッチ処理タンク2C内部点検結果



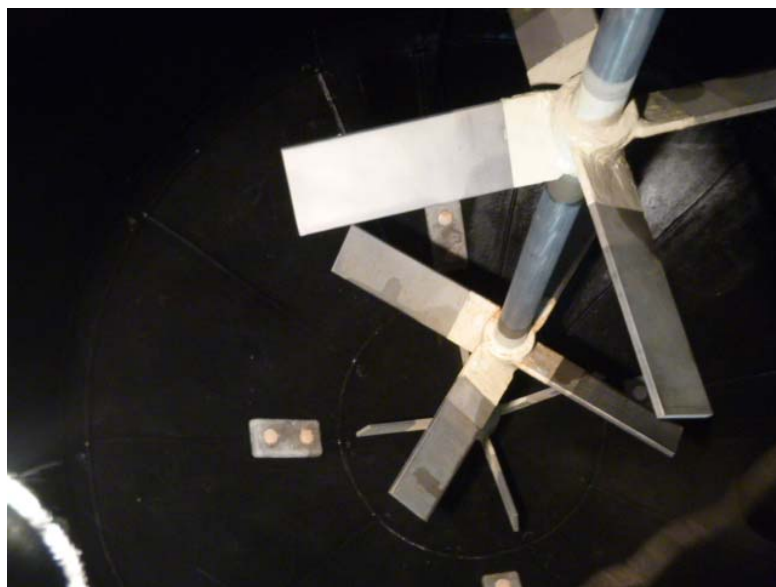
離脱した梯子用ゴムパッド  
(ドレン孔付近で発見)



離脱せず当初の場所に残っていた  
梯子用ゴムパッド  
(固定されていたテープを  
取り外し、寸法測定を実施)

# バッチ処理タンク1 C内部点検結果

- 類似の工法で内部のゴムライニング施工を行った**バッチ処理タンク1 C**の水抜き作業、および**内部点検を実施**。



- その結果、足場設置用ゴムパッドに異常のないこと、および**梯子設置用ゴムパッドが設置されていないことを確認**
- その他の異物がないことを確認

バッチ処理タンク内部の点検が終了したことから、

- C系ホット試験による汚染水処理を再開** (9/30 2:38)
- また、バッチ処理タンク1 C及び2 Cの**スラリーが異常なく排出できることを確認** (9/30 6:06、8:04)